



金亀会報

平成23年3月1日発行
発行所
滋賀県立彦根東高等学校
会
金 亀
滋賀県彦根市金亀町4-7
TEL & FAX 0749-23-0888

印刷所
株 ヒ コ ハ ン
彦根市城町1丁目4-12

彦根東高校新聞 縮刷版が刊行されます

昭和62年5月～平成22年10月まで

写真は、彦根東高校
新聞縮刷版Ⅰ・Ⅱ
(昭和61,62年刊行)



母校のあゆみと懐かしい顔や風景を掲載
「彦根東高校新聞縮刷版Ⅲ・Ⅳをぜひご購入下さい」

彦根東高校新聞は昨年10月、400号を迎えるました。これを機に「彦根東高校新聞縮刷版Ⅲ・Ⅳ」(2分冊セット)を刊行いたします。昭和61・62年に刊行しました「彦根中学・彦根東高新聞縮刷版Ⅰ・Ⅱ」に続くものです。新聞は散逸しやすく、母校の歴史を記録した学校新聞を残すためには縮刷版にする必要があります。刊行の意義をご理解いただき、ご購入によつて母校の記録保全にご協力下さい。

縮刷版Ⅲ・Ⅳには、昭和62年の204号から文部科学大臣奨励賞を受賞した400号までが収録されます。懐かしい先生方や生徒諸君の記事が多数掲載されています。また、学校周辺の変遷や、当時多くのマスコミに取り上げられ話題となつた朝鮮人街道の特集など興味深い記事が満載です。さらに、一昨年のセンバツ高校野球大会に出場しましたときのカラー版速報「赤鬼の春」も掲載いたしました。縮刷版で母校の移り変わりや当時の在校生の活躍をご覧下さい。

なお、23年前に発行しました「彦根中学・彦根東高新聞縮刷版Ⅰ・Ⅱ」も今回の中古版Ⅲ・Ⅳとのセットに限り販売いたします。ご購入の際には、同封のゆうちょ銀行振込用紙をお使い下さい。

- A 「彦根東高校新聞縮刷版Ⅲ・Ⅳ」(2分冊セット)
(昭和62年5月・彦根東高校新聞204号～平成22年10月・400号)
3500円
- B 「彦根東高校新聞縮刷版Ⅲ・Ⅳ」と
「彦根中学・彦根東高新聞縮刷版Ⅰ・Ⅱ」(4分冊セット)
(昭和13年・彦中1号～彦根東高校新聞400号)
7000円
- ・Bについては「縮刷版Ⅰ・Ⅱ」の残部がなくなり次第終了いたします

恩師だより

思い出すあのことこのこと

—美しく豊かな近江に住んで—

出口重德



先生は昭和十年広島県にお生まれになり、昭和三十四年広島大学を卒業されました。同年英語科新任教員として高島高校に赴任、5年後、東海道新幹線開通と東京オリンピック開催の年の三十九年に八幡商業高校に転任され、次いで四十二年には本校に転任され、五十八年までの十六年間を勤務されました。その後、同年に開校した河瀬高校に転任され、六十一年三月、第一期生を送り出した後、平成八年に退職、その後3年半同校で講師を勤められました。

本校では、弓道部・ハンドボール・柔道部の顧問をされ、特に柔道部員と学校近くの寺院の本堂で合宿した時のことが楽しい思い出として残っています。

退職後は映画や、同僚の方との小旅行を楽しんだり、健康保持のため、近くの公園や農道などの散歩に出かけられています。

私たちは、学習と部活動の両立が大きな問題でした。私が彦根東高に在職していた当時も、学習と部活の両立は大きな問題でした。教科書を基本にそれに更に肉付けした授業を自由に展開しておられたように思います。

となつていて、生徒も大変悩んでいました。三年生の場合、部活は一学期の春季高体連まで続け、後は一年生にバトンタッチする部がほとんどでした。この傾向は今でも変わつていなかもしれませんが、彦根

の節に分けての暗誦でしたか。ことに生徒が予想以上に乗ってきてくれ嬉しく思いました。ある生徒は大学入学後、講義が終わつた後、学生の前に出て全文を暗誦したと聞いています。拍手があつたかどうかは

知りませんが……。
授業はやはり教科書だけで終わ
せずに、それに関連した何かを加
生徒にとってより魅力あるものに
することが大切だと思います。

第一次世界大戰

私が前任校の八幡商業高校から彦根東高校に転任する直前の昭和四十二年二月、当時の本校の校長、だつた嶋田栄一先生のご自宅に呼ばれ、本校に来ないかとの打診を受けました。その時先生が言われたことは「本校では、ただ授業さえしつかりしてくられたらよい」とのお言葉だつた。当時彦根駅近くに住んでいた私は夕食をすませ、歩いて小雪のちらつく中を先生のお宅を訪ねた。お言葉を聴いた後、それを噛みしめながら帰途についたが、外は大雪となり、降り積もつた彦根の銀座街をゆっくりと歩いて帰宅したことを憶えている。

一見、飘々と穏やかな口調で話された言葉が胸に重くのしかかつてきましたが、先生はその年の四月桜満開の中、定年で学校を去つていかれました。以来十六年間、その時の先生の言葉の意味は単に教科書通りの授業ではなく、もつと実社会にも合つたより広いことを含んでいたのではないかと今思ひ返しています。各教科の先



(1970年 卒業アルバムより)

いるのを見かけることがあります。伝統の強さを感じます。野球部も一昨年の夏、待望の甲子園出場を果たし全校を盛り上げてくれました。甲子園では、赤一色の応援団が注目され、私も応援団のすぐ横の外野スタンドの一隅で応援し、青春の一時を味わうことができました。文化部の一つ

私が生まれた昭和十年から昭和二十年までの十年間は、歴史上、正に激動の十年間だったと云えます。十一年の二・二六事件、十二年に始まつた日中戦争、更に十六年に勃発した太平洋戦争へと続き、二十年の広島・長崎の原爆投下により日本は敗戦を迎えた。この十年間に失われた尊い人命は、平行して戦われた欧州その他での戦争を含めると、第二次世界大戦全体の戦死者の総数は膨大なものになります。

産と産物に恵まれ、いつの日か世界遺産に指定される可能性を秘めています。このような美しく豊かな滋賀に住むことができて嬉しく誇りに思つています。

きびしい現実と先の見えない未来が卒業生の皆さんの中に立ち塞がっていますが、どうか各自が培つてきた文武両道の精神を生かして、希望を持ち続けて厚い壁を乗り越えて下さい。先輩の方々が長年にわたって築いてこられた伝統ある彦根東高校の益々の発展をお祈りします。

新聞部も例年のように各種の受賞を重ね、その目覚ましい活動は全国的にも注目されています。

時、私の頭には次のようなことが主に浮かんできます。一つ目は広島原爆の投下時のあの閃光と爆発音の凄まじき、その後に立ち上った煤けた黒煙。二つ目は原爆投下前後に誰からともなく耳に入ってきた「マツチ箱」一つの大さき位のもので富士山が吹つ飛びほどの強力な爆弾が米国にはある」と。三つ目は爆撃から逃れるため田舎に疎開してきた生徒達と授業を共にしたこと。四つ目はひどい空腹。

産と産物に恵まれ、いつの日か世界遺産に指定される可能性を秘めています。このような美しく豊かな滋賀に住むことができて嬉しく誇りに思つています。

きびしい現実と先の見えない未来が卒業生の皆さんの中に立ち塞がっていますが、どうか各自が培つてきた文武両道の精神を生かして、希望を持ち続けて厚い壁を乗り越えて下さい。先輩の方々が長年にわたって築いてこられた伝統ある彦根東高校の益々の発展をお祈りします。

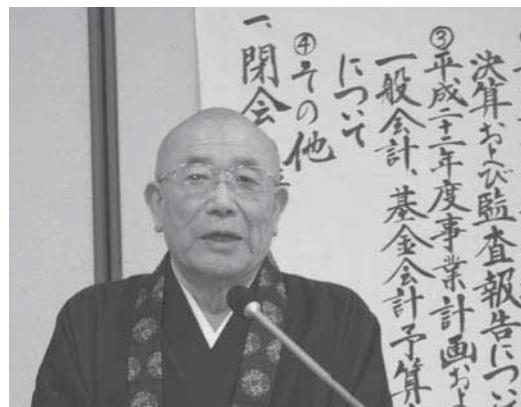
記念講演

「一隅を照らす—忘己利他—」

今年度の記念講演では、金剛輪寺住職で、前天台宗宗務総長の濱中光礼氏をお招きしました。先生は昭和33年に本校を卒業され、明治大学政経学部に入学。昭和37年に卒業された後は、民間会社に勤められ、昭和40年に実家の金剛輪寺の執事に就任されています。

その後は、民生児童委員や秦莊町の教育委員を30年以上にわたりつて務められ、地域に貢献されています。また、天台宗においては、平成10年に天台宗宗議会議員、平成17年には天台宗宗務総長に就任され、一昨年12月の任期満了により、退任されました。ところです。なお、平成17年11月には藍綬褒章を受章されています。

講演に先立ち、同窓・同期でしかも同じ明治大学出身の観音正寺管長の岡村潤應氏より、宗



教界の発展に貢献された濱中氏の功績をはじめ、観音正寺の不幸な事件についても、大変な励ましをいただいたことが紹介されました。

も毎日この冒るや感つ取てれ湖らをつり麥そ間

この中で色々な疑問や矛盾を
いくか、若いときから苦労
してきました。しかし、その頃から
早く、どうして寺の経営をや
にくく、ひとともと天台宗は檀家があま
近江鉄道が付けた名前である
朱三山が少しずつ人々に知ら
るようになり、金剛輪寺とし
て他の寺に先駆けて拝観料をや
るなどの新しい取り組みをや
きた。

金龜會總會

怨みを以て怨みに報ゆれば、怨み即ち尽く」

最後にお大師様の次の様
を紹介されました。

大師の言葉を噛みしめるに、人々に言い続けることを述べられました。

が家族崩壊の事件や毎年していく環境の変化、そして半島の情勢や9・11事件「うらみの心」を見る時

開催されメリヤーな活動
ているそうです。

り、最近では、開かれためざして真言宗との交流をおられます。また、昭以来進めてきた「隅を照運動は、全国津々浦々で

濱中光礼氏(東6)

第93回平成22年度東京金龜会

幹事長 西村 兼治

十年一昔 私が平成13年上
当会に携わり早や、10年が経
しました。第93回東京金龜会
七夕の7月7日定番のグラン
アーレ半蔵門で昨年に劣らず
08名の参加が有り大高会長
下幹事の面々もまずは一安心

当日参加者の卒業年度別にループ分析をしますとAグループ彦根中46回（S9卒）から60回（S23卒）までが7名で、に『赤鬼魂ここにあり!!』と元気。Bグループは彦根高専1回（S25卒）から同3回（27卒）までが19名。Cグループは彦根東高校3回（S30卒）から同47回（H11卒）までが7名です。母校の沿革124年のS9卒の中山龍三先輩を筆頭にH11年卒の山川美紀子さん、の幅広い学年が参加下さいました。



第一部の総会では本部より橋本副会長、東高校からは寺田校長、吉田教諭がご臨席下さいました。司会は恒例の福永プロ（S14卒）が務め、大高会長の開会の辞でスタート、私の事業報告、松浦幹事の会計収支報告、山地監査の詳細に亘り適正であるとの承認を得て、参加者全員の大きな拍手で終了。懇親会の会場は1卓10人のテーブルが12卓あり、来賓者、役員、大先輩の方々を中心には同期会の雰囲気と一緒に置、清水副会長（S30卒）の乾杯の発声で暫し飲み食べ、歓談し両サイドの立食テーブルに列が出来ました。宴も半ばイベントは『井伊家の上屋敷／下屋敷』で谷口徹氏

(S46卒彦租市教育委員会文化財部長)が屋敷の間取り等判り易く説明、大老の威儀を学びました。会場の壁面には当会最長老94歳の山中龍三氏(号龍雲)の傑作大掛軸12本が飾られその見事さに圧倒される書道展となりました。

私が担当した東京金龜会10回開催の中、一昨年56年振りに3回目の春の甲子園出場を果たし母校の名を高めて呉れたビッグニュースは会場を異常な熱気で包みました。それを機に、関東地区の野球部OB会が発足した今井監督も参加し40人の野球部OBとの山櫻先輩(S30卒第2回春の甲子園出場)からの報告では、部員OBが集まつた様です。その時のエース金子周作君が慶應大学に進み有望投手として1年生からベンチ入りし大きな戦力となっています。想うに昭和27年春東京六大学リーグ戦で慶應が優勝し、母校OBの故松本豊遊撃手が首位打者を獲得し大活躍した事を同窓の誇りとして応援したものです。金子投手も六大学のスターとして故松本豊引会では岡村氏(S44卒)よりサントリービール、高井氏(S34卒)より銘酒、中居幹事(S36卒)が地産名品の数々等を寄贈下さり大いに盛上りました。あつという間の2時間半。最後は一つの輪になり校歌等の大合唱、本年7月7日のイベントでソプラノを演じて下さる島田茂代さん(S62卒)のリードで幕となりました。幹事一同張り切つて参加を御待ちしています。

**甲子園出場
記念碑の設置**

教頭

青木靖夫



第81回選抜高等学校野球大会（平成21年3月）出場から早2年の月日がたちました。金龜会員の皆様には物心両面からのご支援をいただき、選手達も事前に十分に準備を整え、甲子園という大舞台で堂々と戦うことができました。また、大会当日は全国各地から多くの先輩方にご参集いただき、在校生・職員、地域の方々とともにアルプススタンドで熱い応援を繰り広げることができました。その成果もあり、大会閉会式では応援団最優秀賞をいただくことができました。そのような中、選抜高等学校

会員の皆様には物心両面からのご支援をいただき、選手達も事前に十分に準備を整え、甲子園という大舞台で堂々と戦うことができました。また、大会当日は全国各地から多くの先輩方にご支援をいただき、選手達も事前に十分に準備を整え、甲子園にいるのではありませんか? その思い出を何かの形で残せないかと考え、本校前庭に自然石でできた記念碑を設置することにしました。

記念碑には、「応援歌歌詞」「求めよ普く、究めよ深く」などの碑文とともに開会式入場行進とアルプススタンド応援団の写真をプレートにして埋め込みました。また、卒業式前日には関係の方々をお招きし、記念碑除幕式を挙行いたしました。

野球大会に出場あるいは応援に参加した在校生（当時の1年生）も今年卒業を迎えることになりました。あの甲子園での熱い思い出は今も彼らの脳裏に焼き付いています。彼らが本校を卒業する前に、いかと考へ、本校前庭に自然石でできた記念碑を設置することにしました。

平成21年度 金龜会一般会計収入支出決算報告書

(収入の部)

(単位：円)

予算科目	予算額	収入済額	差引額	備考
入会金	1,093,000	1,066,000	△27,000	在校生
会費	3,400,000	3,285,200	△114,800	会費終身 304人・年 315人
雑収入	41,154	33,788	△7,366	名簿代、預金利息等
繰越金	1,295,846	1,295,846	0	前年度繰越金
合計	5,830,000	5,680,834	△149,166	

(支出の部)

予算科目	予算額	支出済額	差引額	備考
事務費	180,000	170,780	9,220	消耗品等
通信費	150,000	161,933	△11,933	電話代、郵送料
総会費	350,000	354,834	△4,834	総会諸経費
会議費	220,000	166,576	53,424	常任理事会
旅費	140,000	107,580	32,420	支部総会
涉外費	600,000	600,000	0	支部総会祝金
事業費	3,500,000	3,156,394	343,606	会報印刷・発送、卒業記念品等
激励費	500,000	230,000	270,000	全国大会出場激励金
繰出金	0	0	0	
予備費	190,000	0	190,000	
合計	5,830,000	4,948,097	881,903	

収入総額 5,680,834円 - 支出総額 4,948,097円 = 残額 732,737円(平成22年度へ繰越)

平成22年度 金龜会一般会計収入支出状況(12月末)

(収入の部)

(単位：円)

予算科目	予算額	収入済額	差引額	備考
入会金	1,064,000	1,053,000	△11,000	在校生
会費	3,400,000	1,006,320	△2,393,680	会費終身 92人・年 109人
雑収入	28,263	21,241	△7,022	名簿代、宛名シール、預金利息
繰越金	732,737	732,737	0	前年度繰越金
合計	5,225,000	2,813,298	△2,411,702	

(支出の部)

予算科目	予算額	支出済額	差引額	備考
事務費	170,000	62,492	107,508	消耗品等
通信費	150,000	100,449	49,551	電話代、郵送料
総会費	275,000	196,394	78,606	総会諸経費
会議費	170,000	89,300	80,700	常任理事会
旅費	120,000	165,160	△45,160	支部総会
涉外費	800,000	825,515	△25,515	支部総会祝金
事業費	3,250,000	166,824	3,083,176	公孫樹印刷、印刷機リース代
激励費	250,000	335,000	△85,000	全国大会出場激励金
繰出金	0	0	0	
予備費	40,000	0	40,000	
合計	5,225,000	1,941,134	3,283,866	

収入総額 2,813,298円 - 支出総額 1,941,134円 = 残額 872,164円

平成21年度 金龜会基金会计収入支出決算報告書

(収入の部)

(単位：円)

予算科目	予算額	収入済額	差引額	備考
繰越金	45,260,443	45,260,443	0	前年度繰越金
繰入金	0	0	0	
寄付金	1,000	950,000	949,000	東高第7回卒業同窓会900,000円 成富園(東15)50,000円
雑収入	18,557	5,780	△12,777	預金利息
合計	45,280,000	46,216,223	936,223	

※東高第8回卒業同窓会より「プロジェクター等視聴覚機器一式」(84万円相当)を御寄贈頂きました。

(支出の部)

予算科目	予算額	支出済額	差引額	備考
激励費	1,000,000	1,000,000	0	海外研修激励金
設備等整備費	1,720,000	1,677,245	42,755	大容量加湿器 ホームページ充実料
合計	2,720,000	2,677,245	42,755	

収入総額 46,216,223円 - 支出総額 2,677,245円 = 残額 43,538,978円(平成22年度へ繰越)

平成22年度 金龜会基金会计収入支出状況(12月末)

(収入の部)

(単位：円)

予算科目	予算額	収入済額	差引額	備考
繰越金	43,538,978	43,538,978	0	前年度繰越金
繰入金	0	0	0	
寄付金	1,000	3,000	2,000	山川秀二(東17)
雑収入	5,022	140	△4,882	預金利息
合計	43,545,000	43,542,118	△2,882	

収入総額 43,542,118円 - 支出総額 1,000,000円 = 残額 42,542,118円

平成21年度会計監査報告書

平成21年度滋賀県立彦根東高等学校金龜会の一般会計及び基金会计について、各会計の決算書を基に関係諸帳簿、預金通帳及び収入支出証拠書類等の監査をしたところ、いずれも適正に処理されており、正確であったことを認めます。

平成22年5月18日

金龜会会計監査 大森修太郎印 川瀬勝彦印

寄稿の予約を是非お願いします。字数は14字×28行程度でお願いします。

彦中五十四期 母校の地に集う

内堀善一(中54)



第二十三回目の同期生会は久しぶりに彦根での開催となつた。平成二十二年十月二十八日、母校の地に集う学友は十二名、杖を頼りの友もいたが、往年の一中健児は在校時の元気な面影を残していた。

さて、定刻宴会場に集合、既に鬼籍に入つた百人有余の友を偲んで黙祷を捧げ、本日の主幹事押尾清君歓迎の辞を述べ、引き続いて遠来の細居俊司君の音頭により一同の健勝を祝して乾杯開宴となつた。

近況報告、在校時やその後の思い出話、学友のこと等々全員所懐を述べ、話題は話題を呼んで賑やかな友情交歓の情景が繰りひろげられた。参加人数は年々減つて本年も少人数となつたが、あれやこれやの話題は尽きず、杯開宴となつた。

母校の地に集う学友は十三名、杖を頼りの友もいたが、往年の一中健児は在校時の元気な面影を残していた。

さて、定刻宴会場に集合、既に鬼籍に入つた百人有余の友を偲んで黙祷を捧げ、本日の主幹事押尾清君歓迎の辞を述べ、引き続いて遠来の細居俊司君の音頭により一同の健勝を祝して乾杯開宴となつた。

お国自慢の料理を賞味しつつ、近江の銘酒を酌み交わして旧交を温められることは誠に幸いであつた。

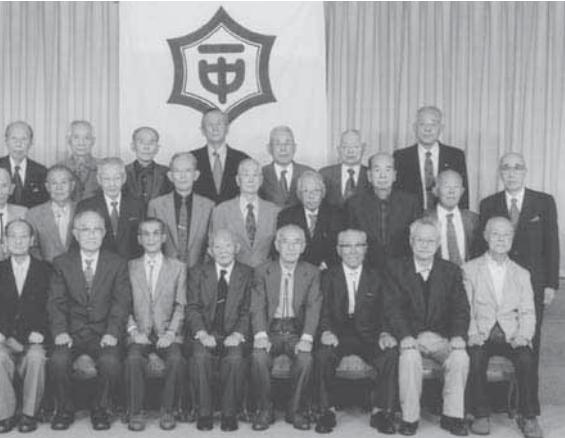
尽きぬ名残を惜しみつつ、来年の再会を約して散会した。

児は、まさに堂々の風格、長壽の風貌ありました。語り合うことが何より楽しい同窓会である。宴だけなわともなる。宴だけなわともなりませぬ。詩を吟じて二十年の北村隆君が、朗々の詩吟を披露して絶好調。

最後は恒例。東京の中辻善藏君の発声で、彦中校歌と応援歌を声高らかに合唱して閉会。

次回は、平成二十三年五月二十四日同

会場で。幹事は、高木徳本君と小川芳夫君。乞ご期待



さよなら 一中校旗幕

田井中正弘(中56)

昭和十八年三月一日、彦中第五十五回卒業。県下の一中として誇り高く巣立つ。爾來六十八年。五五会は連綿続行。今年も新緑快晴の佳日、五月二十五日彦根グランドデューカホテルで開催。出席者十六名、高齢なが

1937年(S14年)選ばれて?、200名の少年が桜花爛漫の彦根城下に集い、軍国調

色の時代から、不透明な戦後を経て七十幾星霜、今日では到底ら相変らず矍鑠たり。さすが一中健児。赤鬼魂面目躍如。幹事は長浜の宮川三郎君。用意周到の計画と配慮のもと充実の同窓会。

先ず、天守閣を背に記念写真。

五月晴れの新緑に映えて一中健の顔に記念写真。五月晴れの新緑に映えて一中健の顔に記念写真。

五月晴れの新緑に映えて一中健の顔に記念写真。



卒業以来はじめての顔もあり、名札と顔を見比べてあらため手を握り合う姿も見られ、互いの出会いを喜びあつた。遠く力ナダやアメリカからの参加した人もあり、懇親の一角落り上げていた。

学年会だより

前回の「喜寿記念総会」に引き続き、彦根高校卒業時の恩師前川太市先生をお迎えした。先生も今年米寿を迎えた、そのお祝いも兼ねる二重のめでたい会となつた。先生からのユーモア交えたスピーチは、なお往時そのままのバイタリティーや意欲が溢れ、傘寿を超ようとする一同にとつては、素晴らしい贈り物となつた。

高齢のため次回開催を危ぶむ声もあつたが、大多数の賛成で、5年後の「卒業65周年記念総会」の開催を決議し、今回の記念写真と傘寿祝いの品を手に、再会を約して散会した。

二六会

田井中一夫(彦2)

今年も第26回目の「二六会(昭和26年彦根高校卒業)」を、例

年通り9月25日J.R彦根駅前「ホテルサンルート彦根 金龜の間」にて午後1時より開催いたしました。今年も昨年同様出席者は少し減りましたが、出席者の地域別では、札幌1名、東京・関東地方13名、東海・中部地方8名、大阪・関西各地23名、彦根及び滋賀県内36名、その他(岡山・広島)2名、男性45名・女性38名の合計83名の同級生が集いました。札幌よりの出席には皆さんびっくりでした。また残念ながら黄泉の国へ旅立たれた方も、連絡を頂き判明しただけで109名となりました。物故者のご冥福を祈り黙祷の後、東京・名古屋・大阪各地「二六会」



の今年の活動及び近況を発表頂き、遠路札幌より駆けつけて呉れた藤井正君の乾杯で開会致しました。

我々は来年彦根高校卒業60周年を迎えます。平成13年の卒業50周年には186名の出席者があり、当時は皆さんまだ元気だったのですが、来年はさてどうでしようか。同級の皆さんに喜んで頂ける我々の計画を立てて、盛大に「彦根高校卒業60周年」を祝いたいと考えて居ります。

「湖辺の春にかざられて 雲吹き払ふ膽吹山・・・」旧制彦根中学校歌を齊唱し午後4時半閉会となりました。10月6・7日、百年に一度の好天名余りが飲み直し、語り直し、散会となりました。

30名の参加を得て、30名の参加を得て、30名の参加を得て、途中乗車を経て一

ぎんにやん登場 春秋二企画実施

澤 龍洋(東12)

4月11日彦根での「一日限定の18歳」の集いには、熱烈幹事の呼びかけと過去の同窓会の写真をカラーリ印刷した案内状の効果が113名の仲間が出席。往年のマドンナが座る受付では、はがき大の名札を掛けてもらい、歓談の輪ができました。冊子や会場の垂れ幕には母校MC「ぎんにやん」が登場。初ちゃんの軽妙な司会と、久保田さんの広島弁の乾杯で開宴。歓談は、近況・昔話・孫話・介護・病気治療等々、いずれも「自慢話」の隠し味が利いておりました。酔いが廻らぬうちにと、洋ちゃん監修のDVDが上映。選抜の赤一色のスタンンド、割れる様な歓声が映し出され、故嶋田校長・学び舎・部活・各組の懐かしい顔が続々登場、流行歌も編集者の嗜好が反映されており圧巻でした。希望販売し収益金を破綻

寸前の同窓会会計に繰り入れました。10月の「修学旅行に行こう」企画の説明後アンケートを実施。允&美知代のへの挨拶では術前の澤居ちゃんを激励。尻の重い人のために同会場で二次会、さらに三次会へと移動、40名余りが飲み直し、語り直し、散会となりました。



母校マスコットキャラクター 「ぎんにやん」同窓会で大活躍

「ぎんにやん」同窓会で大活躍となりました。10月6・7日、百年に一度の好天に恵まれ修学旅行に参加を得て、30名の参加を得て、30名の参加を得て、30名の参加を得て、途中乗車を経て一

は松茸を賞品にクイズバトル、大阪班は青春賛歌を聴きながらの山並みを堪能し最終目的地の信州上高地へ。大正池から河童橋まで梓川の遊歩道で昼食弁当を摑りながら散策。河童橋でのさよなら会では、灰ちゃんがウイットに富んだ修学旅行企画の再実施の期待を述べると、全員から賛同の声があがり、記念撮影の後バスに乗り込み、釜トレンネルの分岐点ではそれぞれの車中で「ありがとう、お元気で」と声を掛けあい一路家路を目指してありました。

同窓会をもたれる場合には寄稿の予約を是非お願いします。

5年ぶりの決勝戦

母校だより



2010年 観客に挨拶する準優勝チーム

5年ぶりの決勝戦。私は応援席から後輩たちの逞しい姿を見ていた。

一昨年は21世紀杯に選ばれ春のセンバツで56年ぶりに甲子園出場を果たした。甲子園にはたくさんの中・OB・地域の人々が応援に駆けつけてくださり、アルプススタンドを赤鬼魂の赤色に染め、最優秀応援団賞をいただいた。この時、私もアルプスおり、彦根東高校は本当に愛されているのだなとつくづく感じ、感謝の気持ちで心が温かくなつたのだが、この決勝戦もたくさんの人が集まつてくださった。

この夏もまた気持ちが温かくなつた。夏の選手権大会は過去滋賀県大会決勝を15回戦ついている

打撃力向上を課題に上げていた。チームの練習の成果が見られた試合だった。だが、惜しくも甲子園出場はかなわなかつた。ここでまた課題が与えられた。

私も5年前に決勝戦の舞台に立つた。私たちの代は、新チームがスタートするもなかなか勝てず監督、コーチから彦根東高史上最弱のチームだといわれていた。初めての公式戦でも1回戦で負けた。「このままではいけない、なんとかしなくては」とみんなが思い、危機感を持つて練習に取り組んだ。飛び抜けでうまい選手がいないチームだったので、私達のチームの課題は個々のレベルアップ。その結果、春季大会でベスト4に入る

～終わりなき課題～

ことが出来る。だから頑張れる
これは、人生においても言える
のではないか？まだまだ若輩者の
の私だがそのように思う。
仕事、暮らしの中で次々とぶ
つかる壁を越えていくことがお
もしろい。私は自分によく問い合わせる。
「あのころの自分より
頑張っているか？」
「後輩たちのように壁を越えようと、
このように壁を越えようと、

2005年 閉会式での準優勝チーム



第2学年の修学旅行は、一昨年の見直しによる沖縄県の離島での体験学習2年目となりました。昨年度猛威をふるつたインフルエンザ禍も影を潜め、穏やかに出発準備を進めることができました。

修学旅行の一団は、11月8日（月）生徒314名、引率14名で早朝の彦根を出発しました。石垣島までは3班に分かれての行動でしたが、どの班も大きなトラブルなく石垣島に降り立ちました。

石垣島では初日に班別自主研修、2日目・3日目はクラス別研修やコース別体験学習を行いましたが、本州よりも気温が5度以上も高く、少し歩くと汗ばむような陽気で、無事石垣島に到着できた喜びもあり、生徒の表情はたいへん明るく見えました。

初日の川平湾のグラスボート

修学旅行

修では沖縄地方の伝統舞踊
樂に触れ、文化の違いを実
ることとなりました。午後
れた竹富島では石垣島とま
った霧間氣を楽しんだよう
た。また、コース別体验学
はいくつかのコースから各
好みに合わせた選択制であ
ることもあり、充実度は極め
かつたと思われます。

や音別研
感す
に訪
た違
でし
ならびに難関国立大チャレンジ
を掲げて指導に当たつてまいり
ました。この間、全県一区制へ
の移行という大きな制度変更が
あり、生徒の通学地域の幅も広
がつて本校も新たな段階に入り
て高
数年が経ちました。

ここ十年來、進路指導の方針
として、「出口指導」から「生
き方・あり方指導」への転換、
た本校生徒の進学の現実もずい
た本

と夏の滋賀県大会で決勝まで進んだ。しかし決勝戦で敗れた。甲子園出場を果たせなかつたことで大きな悔いが残つた。高校野球最後の試合にして、私達もまた課題を与えられた。

つくばっているか？
後輩たちの高校野
球部で、自分た
ちが、これからはそ
れを克服すべくがんば
う。この夏に自

球は終わつ
れぞれ舞台
られた課題
せない様子でした。その後の石
垣島別里自主研修においても、
つてくれる
話題となつた石垣海上保安庁並
の多くの報道陣に驚く姿があり
まつてほん
ミン。

● 進路指導課

また一方で、地方の国公立大学は人気を落とし、あまり全国へと散らばることはなくなりつつあります。それに代わって関関同立、とりわけ、立命館大学や同志社大学の合格者や進学者がずいぶん増えました。全国的な傾向としての地元志向や地方での就職活動が不利だといった事情が反映しているものと思われます。また、理系の学部を志望する生徒の比率が徐々に増えてきていますが、これも不況の影響をはつきり受けたもので。

陸上競技部の活躍によせて

全国インターハイに出場

岡野正義(東4)



所で入部した頃はまつたく手入れされていなく、トラックとフィールドの縁石があるだけの広場でした。近くに競輪選手がいたのか、時々練習しており、その時は3・4コースまでは競輪用で、その外側を走っていました。1年の秋に一般の近畿府県対抗が開催され、そのため改修工事があり、やっと競技場らしくなりました。公認競技場は彦根だけで、大会はほとんど彦根でした。ライン・テーピングは無く、大会の前日は彦根4高校の部員はライン引きが恒例で、練習は二の次でした。そのころリレーは800Mで木村美明君(東高H9・10年度校長)と組んで、県で優勝したことがありました。

昔も学校のグラウンドは狭く、授業が終わると競技場へ走って行きました。練習場には苦労したものです。50年経つても同じ苦労を

取られています。夏休みに帰つてこられた時に、いろいろ教えていただきました。ザトペック選手で有名になつたインターバル・トレーニングを教えていただきたいことを憶えています。昭和37年の15回大会に齊藤慎之祐君が円盤投げで優勝しています。当時私は甲賀高に各地で開催されており、滋賀県からの参加は甲賀高の2名と齊藤君の3名で、入場行進では滋賀県に総合体育大会ではなく、種目別で優勝しています。現顧問の小島君も35年前には高校生で頑張つていました。長い歴史の繋がりを感じます。皆さんのお話を喜び、

陸上競技場は昭和13年に水産試験場の一角を埋め立てて建設されましたと聞いています。シングル、シンツーカー、オールウェザーと材質は変わりましたが、全く同じ場所にあります。昭和20年前後は一時薩摩芋田になつたそうですが、彦根中学時代から多くの先輩が汗を流してきました。現顧問の小島君も35年前には高校生で頑張つていました。長い歴史の繋がりを感じます。皆さんのお話を喜び、

更なる活躍を期待しています。そして、高校時代に自分に合つたもの、興味のあるものに打ち込むことは大切なことです。勉強と部活動も大切な勉強だと思います。充実した高校時代だと思います。充実した高校時代を送ってください。

(注、文中の敬称につきましては、先輩、後輩との感覚で書きましたことをお断りします)

日時	平成二十三年 五月二十二日 (日)
場所	彦根・湖東・湖北支部総会
記念講演会	14時 (受付12時45分)
総会	13時15分
会	14時



右端が宮尾憲司さん 第7回国体(宮城)

平成二十三年度

金亀会総会

彦根・湖東・湖北支部総会

会場案内図



*懇親会

(彦根キャッスルホテル
0749-21-2001)
会費 五千円(当日徴収)

岡村均氏(東19回)

講演

彦根東高校会議室
演題「生体リズムと健康」

—元気な生活のために—

京都大学大学院薬学研究科教授

記念講演会 15時

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)

日時 平成二十三年 五月二十二日 (日)

彦根・湖東・湖北支部総会 13時15分

会 14時 (受付12時45分)